

(様式第4号)

第3回上田右岸地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田右岸地域協議会
2 日時	令和5年6月26日 午後1時30分から
3 会場	西部公民館 第5学習室 他
4 出席者	天田委員、上原委員、小川委員、金井委員、小林正人委員、小林みゆき委員、駒崎委員、塩入委員、清水悟委員、清水万貴委員、竹内委員、田中委員、橋詰委員、増田委員、宮下委員、柳澤委員、渡辺委員
5 市側出席者	【事務局】星野中央地域振興政策幹、木嶋西部地域振興政策幹、横澤豊殿地域自治センター長、馬場豊殿地域振興政策幹、近藤地域内分権推進担当主査、唐澤地域内分権推進担当主査、腰原地域内分権推進担当主査、芳池地域内分権推進担当主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年6月26日

協議事項等

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項

(1)分科会に分かれて調査・研究

上田右岸地域の課題について、分科会ごとに分かれて意見交換

【第1分科会:教育・福祉・子育てについて】

調査研究テーマについて協議

事務局から資料を基に説明

(事務局)高齢者の移動支援は個人の好意だけでの継続は容易ではない。仕組み作りが必要である。

(委員)子どものファミリーサポートは有償で1回あたり300円、追加で移動距離に応じて負担が生じる仕組みである。高齢者版のファミリーサポートの仕組みができないか。介護タクシー事業はなぜうまくいかないのか。

(事務局)タクシー会社は事業として成立しなければならない。

(委員)これからの地域交通に関する市の方針はどうか。

(事務局)まだ明確になっていない。

(委員)オレンジバスは他のバスルートと交差していないから乗り替えが不便である。神川地区での取り組みはどうか。

(事務局)検討中である。豊殿地区のように各世帯から負担金を徴収することは難しい。

(委員)社会福祉協議会が運営していたリフトバスは現在どうなったのか。利用者の登録条件が厳しく利用できなかったことがある。

(事務局)車両の更新が難しく、休止したのではなかったか。住民主体の移動支援では、車両の管理は実施主体が担わないといけない。

(事務局)地域交通の検討の方向性は、地域主体への支援と高齢者版のファミリーサポートについて検討することとしてよろしいか。

－同意－

(事務局)地域交通以外の子育て等のテーマはどうか。

(分科会長)CAPの取組を学校で進めてほしい。子どもの権利擁護は地域の理解も必要である。地域でもCAPの

取組を進めてほしい。

(委員)CAP の実際の取組を体験、見学できないか。

(事務局)地域における人権教育として自治会単位の懇談会で CAP を取り上げることもある。

(委員)将来の引きこもり防止のための不登校の居場所づくりも重要である。

(委員)不登校の居場所づくりについては、校長によっては、こども食堂等の場所に行くことができるのであれば、学校にも行けるはずという意識が一部にはあり、統一されていない。校長の考え方次第で変わってくる。

【第2分科会：公共施設・事業について】

調査研究テーマについて協議

◎6月19日(月)の市営住宅視察の感想・意見

○用途廃止について

- ・退去するまで待つのか。
- ・桜台団地、梅が丘団地を用途廃止とした理由は何か。

○建て替えについて

- ・建て替えでは家賃が高くなってしまって入居できないのか。
- ・建て替えれば家賃は高くなるのか。
- ・新しい建物を建てて、そちらに移転できないか。
- ・建て替える場合、駐車場と風呂場は必ず付けてほしい。

○単身入居、高齢者の入居について

- ・単身は入居できないのか。
- ・高齢者の単身入居は可能か。(民間のアパートは貸してもらえないところが多いと聞く。)
- ・一人暮らしの高齢者が入居しやすいような環境整備をお願いしたい。

○その他

(視察の感想)

- ・更新手続きは必要か。
- ・古里団地、岩門団地が満室にならないのはなぜか。
- ・緑が丘西団地、思川第二団地は古すぎる。
- ・古いところが多い。
- ・道が狭い。
- ・防犯にも気を使うべきだと感じた。
- ・市営住宅と県営住宅は入居条件が違うのか。
- ・梅が丘、桜台では自治会運営はできているのか。

(意見)

- ・別所温泉に高齢者向けの公営住宅があると聞いた。高齢者向けの住宅も必要ではないか。
- ・過去には払い下げ等をして、土地を処分してきた経過もあると聞いた。今後も進めるべきである。
- ・民間を圧迫してまで、市営住宅政策を推し進めるのはどんなものか。(例：保育園)
- ・目的をしっかりと持つことが重要である。
- ・ターゲットをはっきり示した方がよい。

次回は住宅政策課による出前講座を行う予定

【第3分科会：建設・産業について】

調査研究テーマについて協議

上田ビジョン研究会主催の第6回上田リバーズ会議「交通まちづくりシンポジウム(2023年3月18日)」の後半部分「森雅志・前富山市長の基調講演」を視聴(テーマ「富山市の交通政策が生み出したもの」)

講演趣旨

・交通なくして、まちづくりなし。公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり

①公共交通の活性化

②公共交通沿線地区への居住推進

③中心市街地の活性化

・交通政策と都市政策を同時に進める

・市民合意を得た上での集中投資→リターン

・おでかけ定期券(65才以上)の発行 など

視聴後、上田市における豊殿地域のデマンド方式による移動支援事業の状況を聞き、意見交換を行った。

調査研究テーマは、交通政策に絞ることとし、次回、公共交通についてそれぞれ感じている課題、問題点を持ち寄ることとなった。

4 事務連絡

【次回】第4回

日時:7月24日(月)午後1時30分～

場所:豊殿地域自治センター

5 閉会